

続・朝鮮通信使2017 / Seque : Korean Envoys 2017

横浜・韓国アーティスト交流プログラム

The Artist Exchange Program YOKOHAMA & KOREA

2010年にスタートした続・朝鮮通信使。人に会う、地域を訪ねる、パレードを行う、コンサートを開く、シンポジウムを開催する等、様々な活動を通じて新しい交流のネットワークを構築してきている。2017年は、韓国の重要な施設や組織と連携しながら、AIRのプログラムを行っている。

"Sequel : Korean Envoys" started from 2010. We have been building a new exchange network through various activities, such as meeting people, visiting communities, conducting parades, holding concerts, holding symposiums and so on. In 2017, we are conducting AIR program in cooperation with important facilities and organizations in Korea.

釜山文化財団

ホンティアートセンター

Busan Cultural Foundation Hongti Art Center



釜山→横浜

Jung Yun-sun (ジョン・ユンソン)

滞在期間:6/18~9/17

Open Studio 8/4~9/6

1976年生まれ。インスタレーション作家。ホンティアートセンター(韓国釜山)5期入居作家。台北アーティストビレッジ、タクトゥアーティストレジデンスプログラム(ベルリン、ドイツ)ほか、フランス、スペインなどでレジデンスプログラムに参加し、現地で作品を制作。主な個展に、「ホンティ、その欲望-循環の中の都市」ホンティアートセンター(2017)、「コモントピア」空間力/釜山(2016)。釜山市立美術館、益山(イクサン)芸術の殿堂などでグループ展に参加多数。既存のゲームをもとに、滞在先のコミュニティの人々と交流、リサーチを繰り返す中でゲームの新たなストーリーを展開していく。



ソウル文化財団

クムチョンアートスペース

Seoul Foundation for Arts and Culture Seoul Art Space Geumcheon

現在調整中



横浜→釜山

蔵 真墨

滞在期間:7/1~9/30

1975年富山県生まれ。98年同志社大学英文学科卒。2001年東京ビジュアルアーツ写真学科中退。2010年さがみはら写真新人奨励賞受賞。主な個展に2002~03年「love machine」シリーズ、2004~11年「蔵のお伊勢参り」シリーズなど。写真集に「kura」「蔵のお伊勢参り」「氷見」(ともに蒼穹舎)、「Men are Beautiful」(Urgent Press)。



ソウル市立美術館

ナンジレジデンス

Seoul Museum of Art SeMA Nanji residency



ソウル→横浜

Jang Taewon (ジャン・テウォン)

滞在期間:7/5~9/30

Open Studio 8/4~9/6

1976年韓国ソウル生まれ。2006年アメリカ、NYのコロンビア大学大学院芸術学部を卒業後、現在は韓国ソウルとニューヨークをベースに活動している。主に大型カメラを使った写真作品を制作。アメリカンフォトグラフィー31(2015年/アメリカ)、ILWOO フォトグラフィックアワード(2010年/韓国)等受賞歴多数。韓国国立現代美術館や韓国写真美術館、ソウル市立美術館等で個展、グループ展を開催。主な写真集に「Stained Ground」ドイツ Hatje Cantz、「Black Midday」韓国 IANBOOKS など。



横浜→ソウル

太田信吾

滞在期間:7/11~10/11

映画監督、俳優。1985年生まれ。長野県出身、横浜在住。早稲田大学の卒業制作として引きこもりをテーマに製作したドキュメンタリー『卒業』がイメージフォーラムフェスティバル2010優秀賞・観客賞を受賞。友人の自殺と真正面から向かい合い、7年間の制作期間を経て完成した『わたしたちに許された特別な時間の終わり』が山形国際ドキュメンタリー映画祭2013アジア千波万波部門に選出。同作はニッポンコネクション(ドイツ)をはじめ、海外映画祭からも招聘が続いている。また、俳優として「チェルフィッチュ」や「劇団、本谷有希子」に出演するなど、舞台・映像を横断して活動している。



仁川文化財団

仁川アートプラットフォーム

Incheon Foundation for Arts & Culture Incheon Art Platform



仁川→横浜

Noh Gihun (ノ・ギフン)

滞在期間:8/15~11/15

1985年亀尾市生まれ。ソウル在住。2012年、韓国中央大学写真学科修了。今、ここをテーマに、ドキュメンタリーの手法に基づき、写真、パフォーマンス、インスタレーションなどを制作。過去から生まれた地理的環境に興味を持ち、「現在の状況は過去に由来する」という前提から、現在を取り巻く過去の影を撮影する。例えば、政府の都市計画(亀尾市)、ソウル-仁川線の有効性、日本の植民地時代に建設された最初の鉄道(1号線)、特定の経済不能地区(ブラック・ナイト)に属するホームレスの人々の社会的地位、時代が変わっても永遠に空間として存在する歴史的な広場の不変性(Mise-en-Scène)など、過去と密接に関係している現在の空間を撮影していく。



横浜→仁川

黒田大祐

滞在期間:6/8~8/22

1982年京都生まれ。広島在住。広島市立大学大学院博士後期課程修了(彫刻)。主な展覧会に「対馬アートファンタジア」(2011-2017)、「瀬戸内国際芸術祭2016」等がある。2014年は「Bankart Life IV」に参加。約1ヶ月横浜に滞在し作品制作。主に彫刻やインスタレーションを制作している。



光州市立美術館

GMAレジデンス

Gwangju Museum of Art

Gwangju international residency program



光州→横浜

Kim Seola (キム・セオラ)

滞在期間:9/18~12/15

1983年韓国麗水市生まれ。2001-06年、忠南大学で絵画を学んだのち、2009-11年、インドのパロダ大学美術学部で絵画を学ぶ。主な個展に「私たちは塵を這う」Mugaksa Lotus Gallery/光州(2016)、「記憶の触覚」Scholz & Jung Gallery/光州(2015)、「Momentary Sonorant」Sakshi Gallery/ムンバイ/インド(2013)。韓国、インド国内でグループ展に多数参加。



Choi Soonim (チェ・スンイム)

滞在期間:9/18~12/15

1973年、韓国光州生まれ。2016年、国立全南(チョンナム)大学校芸術大学彫刻科修了。主な個展に、「夢を見る」(光州、ヤンニム美術館/2017)、「夢を生きる」(ソウル、ヒスギャラリー/2017)、主なグループ展に「2+2 北海道・光州美術交流展2017」(札幌、ギャラリー レタラ/2017)、ソウルアフォーダブル国際アートフェア(ソウル、DDP=東大門デザインプラザ/2016)、第11回光州ビエンナーレ特別展(光州、ACC=アジア文化センター/2016)など。



横浜→光州

中川達彦

滞在期間:8/23~11/17

1961年大阪生まれ。1986年頃からPHスタジオのメンバーとして活動し様々なアートプロジェクトに携わる。またこの頃からアーティストの作品の撮影など写真家としても活動する。2010年頃からBankART1929のオフィシャルカメラマンとして、数々の記録写真を担当する。2012~14年ハンマーヘッドスタジオ(横浜)を拠点に制作活動及び発表を行う。2015年~宇徳ヨシカイ(横浜)に拠点を移し現在に至る。



下西 進

滞在期間:8/23~11/17

1977年広島市生まれ。2002年、武蔵野美術大学大学院修了。2015年、東京芸術大学大学院博士後期課程 先端芸術表現領域修了。自分が写り込み、様々な都市を見下ろして撮影した写真作品、バルーンにカメラを取り付け俯瞰撮影した映像作品、生放送のTV番組にゲリラ的に現れてテレビカメラを写す作品などを制作している。主なグループ展に「アジアの坩堝」福岡アジア美術館交流ギャラリー(2015)、「清里フォトアートミュージアム 開館 20周年記念展」東京都写真美術館(2014)、主な個展に「another lens」JR東日本 上野駅構内(2015)、「I'm On Earth」第7回恵比寿映像祭-地域連携プログラム(2015)など。

